

社会科	3 年	年間	1 4 0 時間（4 時間/週）
-----	-----	----	------------------

1 年間計画

学期	月	●大単元	◎小単元
1 学 期	4	【歴史的分野】 ●開国と近代国家の歩み	◎日清・日露戦争と近代産業 ・パフォーマンス課題（レポート） ・単元の振り返り
	5	●二度の世界大戦と日本	◎第一次世界大戦と日本 ・パフォーマンス課題（プレゼンテーション） ・単元の振り返り
	6		◎世界恐慌と日本の中国侵略 ◎第二次世界大戦と日本 ・探究活動（平和の実現の可否） ・パフォーマンス課題（レポート or プレゼンテーション※選択自由） ・単元の振り返り
	7	●現代の日本と世界	◎戦後日本の発展と国際社会 ◎新たな時代の日本と世界 ・探究活動（歴史的分野を振り返って） ・パフォーマンス課題（ポスターセッション） ・分野、単元の振り返り
2 学 期	8		
	9	【公民的分野】 ●現代社会と私たち ●個人の尊重と日本国憲法	◎現代社会の特色と私たち ◎私たちの生活と文化 ◎現代社会の見方や考え方 ・探究活動（現代社会の問題解決） ・パフォーマンス課題（プレゼンテーション） ・単元の振り返り ◎人権と日本国憲法 ◎人権と共生社会 ◎これからの人権保障 ・探究活動（これからの人権保障のあり方） ・パフォーマンス課題（プレゼンテーション） ・単元の振り返り

3 学 期	10	●現代の民主政治と社会	◎現代の民主政治 ◎国の政治の仕組み ◎地方自治と私たち ・探究活動（政治システムと政治参加の在り方） ・パフォーマンス課題（レポート or プレゼンテーション※選択自由） ・単元の振り返り
	11	●私たちの暮らしと経済	◎消費生活と経済 ◎生産と労働 ◎市場経済の仕組みと金融 ◎財政と国民の福祉
	12		◎これからの経済と社会 ・探究活動（社会全体で考える経済活動の在り方） ・パフォーマンス課題（レポート or プレゼンテーション※選択自由） ・単元の振り返り
	1	●地球社会と私たち ●よりよい社会を目指して	◎国際社会の仕組み ◎さまざまな国際問題 ◎これからの地球社会と日本
	2		・探究活動（国際社会と平和の実現） ・パフォーマンス課題（ポスターセッション） ・分野、単元の振り返り
	3	●中学校社会科学習のまとめ	◎社会科学習の意味、意義と私たち

2 学習評価

観点	評価規準	評価の方法	
		形成的評価 (日々)	総括的評価(通知表)
知識・技能	【歴史的分野】我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【公民的分野】個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代社会の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	☐ 単元・授業ワークシートやデジタル成果物 ☐ eライブラリ ☐ 小テスト	☐ 定期テスト、実力テスト ☐ 単元テスト
思考・判断・表現	【歴史的分野】歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 【公民的分野】社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	☐ 単元・授業ワークシートやデジタル成果物 ☐ 学級やグループでの発言	☐ パフォーマンス課題 ☐ 定期テスト・単元テスト
主体的に取り組む態度	【歴史的分野】歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 【公民的分野】現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	☐ 授業での発言 やつぶやき ☐ 振り返り	☐ パフォーマンス課題 ☐ 単元のワークシート

- 形成的評価…日々の学習において、成果(できたこと)や課題(できなかったことや次に目指すこと)をつかみ、復習したり次の学習に課題をもって取り組んだりするための評価
- 総括的評価…各学期や年間をととしての学習の成果がどの程度であったかを示す評価
- 通知表の評定について…3観点を総括して、5～1の5段階で示す

3 学習のポイント

- 教科書（歴史的分野 or 公民的分野）、地図帳、ファイル、タブレットを毎時間準備します。
- 授業は、学級教室で行います。学習係は、前日に教科担任に確認をして学級で連絡してください。
- 授業でのキーワードは、「問いと見通し、振り返り」です。単元を貫く問いをもとにした自分なりの問いや学習していく中で生まれた新たな問いを大切にしましょう。また、問いへの解（最適解、最善解、納得解等）を見出していく中で、学習内容にはどのような意味・意義があるのか、学習内容がどのように関連するのかを考えたり、単元の中での自分の学び方についても振り返ったりすることが大切です。
- 各単元末や小単元末に、パフォーマンス課題を位置付けています。探究的な課題に取り組みレポートを作成したり、プレゼンテーション等に挑戦したりします。総括的評価の「思考・判断・表現」は主にパフォーマンス課題で評価します。
- 学んだことを定着させるためには、復習することが効果的です。eライブラリには、たくさんの教材が用意されていますので、タブレットを使って家庭学習等に取り組むことができます。自分の課題に応じた問題等に取り組むことが望ましいです。